

1年生防災・減災学習

～事前の備え、自分たちは何ができるかを考える～

1月10日（水）、1年生情報経営科（生徒数40名）を対象に防災学習を行いました。南海トラフ地震は、今後30年以内に70%程度の確立で発生すると予測されており、県内でも多くの建物が崩壊することが予想され、津波被害などから尊い命をどのように守るかが課題となっています。

災害は、いつ何時起こるかわかりません。その時自分はどこに居て、何をしているのかもわかりません。それだけに、イメージーションを膨らませ、いざという場合の取るべき行動を想定しておく必要があります。

今回は、県危機管理課・消防課の協力を得て、「地震体験車 ごりょう君」による地震体験を行い、震度7クラスの大地震で、いかに身動きが大変か、自分がどのような行動を取るべきか考えることができました。

また、住宅耐震化、家具転倒防止対策などに関する解説DVDを使用し、私たちがすぐにもできる減災対策についても考えることができました。

3月には、1・2年生全員で、避難訓練を計画しています。地域には幼稚園、保育所もあり、また多くのお年寄りの方が住んでいます。地域の若き防災リーダーとして、育ってほしいと願います。



(家具転倒防止方法について学びました)



(起震車を使い大地震を体験しました)